

私たちが未来をつくる



先週の後半から、台風の影響もあり、どんよりとした曇り空が続いています。気温は低めでしたが、湿度が高くて過ごしにくいですね。

今日9月7日は、二十四節季では「白露」です。日中の暑さも和らぎ始め、夜間の気温が下がり始めます。すると、大気中の水蒸気が朝露となり、草木に降ります。その露に光が当たり、白く見える時期であることから、その名が付いています。

とはいえまだまだ暑いです。しかし、耳を澄ますと、夏のせみの声に変わり、まつむしやこおろぎなどの秋の虫の声が聞こえるようになってきました。少しずつ秋が近づいているのは、間違いありません。

9月7日は「絶滅危惧種の日」でもあります。1936年の9月7日に、オーストラリアのタスマニア島にある動物園で飼育されていたフクロオオカミの、地球上最後の1頭が死亡し、絶滅したことに由来して、動植物の絶滅のリスクを認識し、その保護について考える日として定められました。

地球上では現在、多くの生物が絶滅の危機にさらされています。日本国内でも、絶滅のおそれがある生物は3700種以上あるそうです。絶滅の原因はさまざまですが、その多くに、乱獲や環境破壊、温暖化など、私たち人間の活動が関わっています。

ほかの生物のことばかり心配してはいけません。今年の夏もとても暑かったので、「そのうち人間が生きていけなくなるのではないか」と思う時があります。また、急速に進化するAIが、私たちの暮らしに入り込みすぎて、人間がする仕事がなくなっていく、とも言われています。人間が必要なくなるのかも、と心配になってしまいます。

なんだか今日は、ずいぶん重たい話になってしまいましたが、人間には、未来を想像し、今の行動を変えることができる力があります。これ以上生き物を絶滅させないために、私たちに何ができるかを考え、行動することはできます。

AIについても同じです。AIをどのように使うのか、何を大切に生きていくのかを決めるのは、私たち人間です。だからこそ、「自分たちの未来を、自分たちでつくる」という気持ちで、日々の学びを積み重ねていくことが大切です。

今日の「絶滅危惧種の日」をきっかけに、身近な自然や生き物のこと、そして自分たち人間の未来について、少し考えてみるのもいいですね。